

## Lake Software リリース・ノート

この度は Lake 製品をお選びいただき、ありがとうございます。本書面は、本リリースの内容と現在確認されている問題についてご案内しております。追加された多数の新たな機能を利用するために、できるかぎり速やかに既存のソフトウェアを本リリースにアップデートすることをお勧めします。本リリースでは、確認されているいくつかの問題が修正されています。詳細は、後述「アップグレードの推奨対象」セクションをご参照ください。

### ウェブサイト

最新情報および新しいリリースについては、下記サイトでご確認ください。

[www.lakeprocessing.com](http://www.lakeprocessing.com)

[www.labgruppen.com/support/software\\_firmware/](http://www.labgruppen.com/support/software_firmware/)

Facebook でも情報をご覧になれます (@Lab.gruppen および @Lakeofficial)。

また、Twitter をフォローしていただければ、常に最新情報をお届けいたします (@labgruppenpower および @Lake\_official)。

### 連絡先

テクニカル・サポートについては、下記 E メール・アドレスまでご連絡ください。

[support@tcgroup-japan.com](mailto:support@tcgroup-japan.com)

操作の詳細については、製品に付属のマニュアルを参照してください。

## リリース v6.4.1 : Installer 64 - 2015-06-24

### 概要

パッチ・リリース v6.4.1 では、EQ オーバーレイのファイルへの保存ならびにリコールが可能となり、OEM とスピーカー・パートナー向けの新しいツールが追加された v6.4.0 のいくつかの重要なバグが修正されています。また、v6.3.1 のいくつかの重大なバグが修正されています。詳細は、「解決された問題」セクションをご参照ください。

v6.3.0 以降の Lake Controller は、PLM+ と D シリーズ・アンプリファイアーに対応しています。これらのシリーズは 4x アナログ / 4x AES インプットを搭載し、4x Contour モジュールによるプロセッシング能力の拡張がなされています。Dante I/O は Audinate の Brooklyn II モジュールを採用しており、Dante で 8x8 チャンネルをご使用いただけるようになりました。

### 重要

- 本バージョンの Lake Controller を使用するには、本リリースに含まれるファームウェア・アップデートを全てのハードウェアに対して行う必要があります。旧バージョンの Lake Controller は、本リリースに含まれるファームウェア・バージョンでは使用できません。
- 本リリースは、クラシック・モジュールを含むフレーム・プリセットをリコールした際にセッティングがコラプトされる可能性がある、キー番号 6613 の重大な問題を解決しています (リニア・フェイズは該当しません)。この問題に関する詳細な記述は、「解決した問題」セクションをご参照ください。

### アップグレードの推奨対象

- 本アップグレードは、全 Lake ユーザーに対して推奨されます。
- v6.4.1 は、v6.4.0 で追加された新機能に加え、v6.3.1 の多くの不具合の修正を含みます。

### 変更点

- モジュールとグループ EQ オーバーレイを単独で保存またはリコールできるようになりました。この操作は、EQ/LEVELS ビューに新規に追加された EQ OVERLAY STORE / RECALL メニューから行います。
- バグフィックスならびに安定性の向上。詳細は、「解決された問題」セクションをご参照ください。

## インストーラーに含まれるソフトウェアとファームウェア・コンポーネント

コンポーネント	バージョン	新規	備考
インストーラー	64	X	
Lake Controller	v6.3.1.11734	X	
Dシリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.50	X	
ARM	11734	X	
DSP	11287		
FPGA	80		
Amp	1.1.3, PSU		
Dante	1.0.187		
PLM+シリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.50	X	
ARM	11734	X	
DSP	11287		
FPGA	80		
Front	4.2.5		
Amp	1.1.3, PSU		
Dante	1.0.187		
PLMシリーズ・ファームウェア (&OEM)	Bundle 00.04.54		
DSP	4.54		
FPGA	41		
Front	1.9.1		
Amp	0.14.5, PSU		
Dante	3.0.1.48		
LMシリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.49		
DSP	2.49		
FPGA	1058		
Front	2.2.0		
Dante	3.0.1.48		
MY8-LAKEファームウェア	Bundle 00.02.49		
ARM	11708		
DSP	R11287		
FPGA	R6041		
Lake Firmware Updateユーティリティ	3.2.3.11716		
Preset Managerユーティリティ			
Preset Manager	3.0.12.0		
LM Series	2.0.12.0		
アナライザー・インテグレーション			
SMAART	1.2		
Live-Capture / AudioClient	1.2		
サードパーティー・アプリケーション			
DAPI	3.1.8.5		Audinate 社より提供 (Windows 7以降、旧 OS の場合は旧バージョンを使用)
Dante Discovery	1.1.1.1		
Dante Control & Monitoring	1.8.2.1		
Lake LoadLibrary™	3.6		別紙リリース・ノートを参照
ドキュメンテーション			
Lake Controller Operation Manual	1.5.4		ウェブサイトにて供給予定
D Series Operation Manual	N/A		
D Series Quick Start Guide	1.0.2		
PLM+ Series Operation Manual	1.0.0		
PLM+ Series Quick Start Guide	1.0.0		
PLM Series Operation Manual	1.3.5		
PLM Series Quick Start Guide	1.3.5		
LM Series Operation Manual	1.3.5		
LM Series Quick Start Guide	1.3.5		
MY8-LAKE Owner's Manual	1.0		
Lake Network Conf. Guide	1.1.4		

## 対応ファームウェア・バージョン

Lake Controller v6.4.1 は、D シリーズ Lake、PLM+ シリーズ、PLM シリーズ、LM シリーズ、及び MY8-LAKE デバイスをサポートします。同パッケージには、各デバイス上で必要とされるファームウェアが含まれ、付属の Lake Update ユーティリティを使ってファームウェア・アップデートを行えます。デバイス別に必要なファームウェアのバージョンは次の通りです。

製品	最低ファームウェア・バージョン	初回リリース
DシリーズLake	2.49	Installer 63
PLM+シリーズ	2.49	Installer 63
PLMシリーズ	4.54	Installer 63
LMシリーズ	2.49	Installer 63
MY8-LAKE	2.49	Installer 63

本リリースに含まれるファームウェアは Lake Controller の旧バージョンには非対応で、**v6.4.0 以前の v6.x や v5.x の Lake Controller** ではご使用いただけません。

Lake Controller v6.0 から、Dolby Lake Processor (DLP)、Lake Contour Pro 26、MESA Quad EQ デバイスは非対応となりました。これらのデバイスには、Lake Controller v5.x の最終バージョンをご使用ください。

## DLM - Direct Lake Messaging (サードパーティー・プロトコル)

本リリースのファームウェア・バンドルは、DLM プロトコル v3.3 の機能性に対応しています。

## インストール

本リリース・バージョンの Lake Controller は、新規のフォルダにのみインストールできます。従来インストールされたバージョンは削除せず、本バージョンを平行してインストールすることを推奨します。

## 略語

[LC]	Lake Controller
[CAFÉ]	CAFÉ ソフトウェア
[D Series]	D シリーズ・ファームウェア・バンドル
[PLM+]	PLM+ シリーズ・ファームウェア・バンドル
[PLM]	PLM シリーズ・ファームウェア・バンドル
[LM]	LM シリーズ・ファームウェア・バンドル
[MY8]	MY8-Lake ファームウェア・バンドル
[Dante]	指定したデバイスの Dante 機能
[PM]	Preset Manager
[DLM]	サードパーティー・プロトコル・インターフェイス
[Updater]	Lake アップデート・ユーティリティ
[Installer]	インストーラー
[Doc]	マニュアル
[LL]	Lake LoadLibrary

## 変更点

### Lake Controller

- モジュールとグループ EQ オーバーレイを単独で保存またはリコールできるようになりました。この操作は、EQ/LEVELS ビューに新規に追加された EQ OVERLAY STORE / RECALL メニューから行います。従来通り、モジュール毎に 8 つ、グループ毎に 4 つの EQ オーバーレイを使用できます。
- EQ ビュー内の全ボタンにおいて、「OVERLAY」の表記が「EQ OVERLAY」に統一されました。統一に伴い、多くのボタンの表記が変更されました。
- モジュールまたはグループの EQ オーバーレイをストアまたはリコールする際に、EQ オーバーレイのストアまたは保存先はモジュールの実際のオーバーレイに保存されるようになりました。この変更により、同タイプの補正を行っている異なる EQ オーバーレイ間の移動が容易になりました。  
**NOTE:** パスは物理フレームには保存されません。フレーム・プリセットのリコールまたはスクロールバーでモジュールを上移動する場合は、パス情報が保存されていないために各オーバーレイはデフォルトの設定である「Modules and EQ Overlays」ディレクトリを参照します。
- EQ オーバーレイ・ファイルを内包できるようになった変更に伴い、「Modules」フォルダの名称が「Modules and EQ Overlays」に変更されました。
- SYSTEM STORE/RECALL / MODULE STORE/RECALL / EQ OVERLAY STORE/RECALL の各ナビゲーション・メニューに、Windows の完全なパス名が表示されるようになりました。
- FILTER EDIT ボタンが、EQ ビューの左上、A/B モード・ボタンの右に移動されました。キーボード・ショートカットが、F9 から「E」に変更されました。
- アンプ固有のパラメーターに移動する際の視認性を向上するため、EVENTS & CONTROL ボタンが AMPLIFIER EVENTS & CONTROL に改称されました。  
**NOTE:** アンプのテキストは LM フレームに存します。
- ベンダー・ロックされたモジュール・ファイルに対応しました。
- 最小化された Lake Controller のセッションが既に立ち上がっている状態で Lake Controller を開くと、Lake Controller が自動的に最大化されるようになりました。
- 大規模システムで全フレームが ALL ページに収まりきらない場合、自動的に ALL-2 ページが作成されるようになりました。ALL-2 ページは、全ページの最後のページとしてではなく、常に ALL ページの右のページとして自動的に作成されます。
- スクロール・バーが、直近にリコールされたシステム・ファイルとは関わりなく、現行ネットワーク上のフレームにナビゲートするようになりました。

## 解決された問題

### Installer 64 (v6.4.1)

キー	コンポーネント	内容
		<b>クリティカル・フィックス</b>
6164	EQ/Levels	ウィンドウ・モードで、バイパスされた EQ オーバーレイのインサートが行えないことがある
6161	External Control Interfaces (3rd Party / Install)	PLM+ と D シリーズ・デバイスが、一部の無効なコマンドを正しく扱わないことがある NOTE: サードパーティー・インターフェイスを含むインストールでは、D シリーズならびに PLM+ デバイスを付属の 2.50 ファームウェアにアップデートすることを強く推奨します。サードパーティー・プロトコル・インターフェイスを使用しない場合は、このファームウェアの更新は必要ありません。

### Installer 63 (v6.4.0)

キー	コンポーネント	内容
		<b>クリティカル・フィックス</b>
6133	System Store/Recall	SystemRecall を行いデバイスが GreyBox ファイルからリコールされるとデバイスが OOS になる
6125	Module Menu	GreyBox ファイルをリコールしてもモジュールの INPUT EQ がクリアされない
6118	LoadLibrary, Module Menu	モジュール C で保存された FIRModule ベースの .csm ファイルをリコールするとエラーが発生する
6113	Audio response, Preset Manager & Presets	LC が接続されている状態でリコールを行うと設定がコラプトされることがある。  問題の詳細： Lake Controller が接続されている状態で FRAME PRESET RECALL を行うと、Lake Controller とアンプ両側の設定がコラプトされることがあり、ハイのチャンネルが HPF フィルターなしとなる可能性がある。Lake Controller が接続されていない状態での FRAME PRESET RECALL で問題は生じない。 - Contour クラシック・クロスオーバーのみ（リニアフェイズは範囲外） - ハイのチャンネルを別のシートに置き、クロスオーバー・セクションからコラプトされたデータを確認可能 - フレーム・プリセット自体がコラプトされるわけではなく、Lake Controller がデバイスに接続されている状態でのリコール・オペレーション時に生じる - ヴァージョン 6.3.1 とそのファームウェアでのみ生じる  重要な情報： - 接続された Lake Controller でフレーム・プリセットがリコールされた設定を元にストアされている全てのシステム・ファイルとフレーム・プリセット等がコラプトされている可能性がある。v6.4.0 では SYSTEM RECALL 時にこのタイプのコラプションが生じていないか検証し、ファイルに問題がある場合には通知を行う。  v6.3.1 における暫定的な処置法： FRAME PRESET RECALL を行う際には、必ず Lake Controller をディスコネクトする（フロントパネルで操作を行う）
6110	EQ/Levels, Groups	グループのコピー／ペースト時に、各オーバーレイの最初の EQ セグメントのみがコピーされる
6108	EQ/LEVELS, Module Menu	モジュール・ファイル・リコール時にモジュール B/D OOS が生じる
6093	Replace Frame	PLM → PLM+ / D の REPLACE を行うと、余りの Dante Tx チャンネルが使用できない
6090	Module Menu	モジュール・リコールを行うとパワー・チャンネルのルーティングが失われる（モジュール C & D）
6060	Module Menu	PLM+ / D Series でコピーペーストを行うと LP4way モジュールの設定がコラプトされる
6004	Crashes	E&C Status と LoadSmart タブでのメモリー・リーク

6003	Supermodules	スーパーモジュールで GAIN が作動しない
5990	Overlay Store/Recall, Supermodules	スーパーモジュールの EQ / GAIN 等のコントロールが正しく作動しない
		<b>メジャー・フィックス</b>
6139	Groups	ロックされたモジュールを含むグループで LIMITERMAX ボタンが無効になる
6088	Workarea & Scroll Bar	スクロール・バーでピンクされたデバイスがセンタリングされない
6012	Window Mode LC	LC のスクリーン上の位置によってスクロール・バーのセンタリングが異なる
5943	Installer	Installer 60 が Windows Vista で起動しない
5941	Events & Control view	ISVPL で ACTUAL には LOCKED と表示されるが、DESIRED には表示されない
5940	Pages	SYSTEM RECALL または LOAD LAST 後、非表示のページが表示される
5762	EQ/Levels	LEVEL LIMITS ビューのアンプ出力電圧に誤った値が表示される (モジュール C & D)
5221	Groups	DSP アウトプット 1 & 3 を使用した 2way モジュールのグループ・アサインメントが行いことがある
4694	Window Mode LC	Lake Controller をウィンドウ・モードで使用してデフォルトの左上以外の位置に置くと、表示が正しく行われなくなる

## 実装されていない機能

[LC] MY8-LAKE の SIMPLIFIED ROUTING オプション

[LC] MY8-LAKE の EVENT ログ

## 既知の問題

## Lake Controller とファームウェアの既知の問題

キー	コンポーネント	内容
	LC, Dante, PLM, LM	Lake Controller から DANTE DEVICE NAME を変更するとデバイスが数秒オフラインになった後にオンラインに復帰することがある
578	LC	モジュール B に Classic 3-way をロードすると、ロー・チャンネルのクロスオーバー・ページでチャンネル名がローの代わりにハイと表示される
1492	LC	コピー／ペーストで LoadSmart のケーブル・データが正しくコピーされない
5887	LC, Multiple Controllers	複数 Controllers 時、PEQ グループ・オーバーレイの GEQ オーバーレイへの変換がディスプレイされる。暫定処置：単体 Controller で PEQ グループ・オーバーレイを変換する
5888	LC, Multiple Controllers	セカンダリ Controller から GEQ グループ・オーバーレイのフラット化が行えない。暫定処置：単体 Controller で GEQ グループ・オーバーレイをフラット化する
1386	LC, Multiple Controllers	複数 Controller で 2-aux モジュール・ファイルを使用時に、プライマリとセカンダリ Controller 間で EQ AUX タブの変更が正しく同期しない。暫定処置：3-aux モジュールを使用するか、プライマリ Controller からフィルターを追加する
1431	LC, Multiple Controllers	セカンダリ Controller からプライマリ側への接続が失われた状況においてもセカンダリ側から EVENTS と CONTROL のポップアップ値がエディットできるが、この値はフレームに到達せず、プライマリへの接続が復帰した時点においてセカンダリの変更内容が失われる
523, 667, 668, 657, 724	LC, Multiple Controllers	複数のセカンダリ Controller を使用すると通信エラーが発生する。セカンダリ Controller にマイナーなセキュリティー面での問題がある
830,1665	LC, Supermodules	スーパーモジュールにおいて、モジュールが部分的にスタンバイまたはオフライン状態にあることがワークエリア上に正しく表示されない。暫定処置：ALL ページで全フレームがオンライン状態にあることを再確認する
1230	LC, Supermodules	A と B モジュールの 2-way を組み合わせるとスーパーモジュールに問題が発生することがある



## FAQ & テクニカルノート

### Lake Controller v6 が起動時にクラッシュする、または動作が極端に遅くなる

Lake Controller v6 は v5.x に比べて多くのビデオメモリを消費します。Intel Atom 等の低スペックの PC においては、内蔵グラフィックス・ハードウェア・アクセラレータで正常に動作しないことがあります。Lake Controller にはハードウェア・アクセラレーションのオン/オフを選択するオプションが用意されており、低スペックのラップトップやタブレット PC ではオフで使用することを推奨します。設定はセッション間で固定で、デフォルトの設定はオンです。Graphics メニュー、またはマイドキュメント/ドキュメントライブラリ内 Lake Controller の Config サブフォルダ内にある「iC.ini」ファイルからアクセスできます。オンにするには「EMULATION=0」、オフにするには「EMULATION=1」に設定します。

(2015 年 5 月追記) Intel HD Graphics GPU ベースのコンピュータにおいて、現行ドライバーに問題が発見されました。メーカーがドライバーを更新するまで、高解像度で使用時にドライバーがクラッシュする可能性があります。Lake Controller の WINDOW MODE をフルスクリーンまたは高解像度モードで使用していき予期せぬクラッシュが生じる場合、Windows の画面解像度を落とすか、LC の WINDOW MODE 解像度を 1680 x 1050 以下でご使用ください。

### Windows 7 - Dante チャンネルにサブスクライブしようとするエラーメッセージが発生する

Windows 7 上で、LakeController の INPUT CONFIGURATION ビューから Dante チャンネルにサブスクライブしようとした時にエラーメッセージが表示される場合は、IP アドレスが固定 IP であることと、169.254.X.Y サブネットが使用されていることをご確認ください。

### Dante は EEE (Energy Efficient Ethernet) に非準拠です

Dante ネットワーク上では Ethernet スイッチの EEE\* 機能を使用しないでください。

Ethernet スイッチの EEE を有効にしている場合、EEE 機能が Dante のリアルタイム・クロック同期通信に干渉し、音声ドロップアウトやノイズが発生することがあるのを確認しております。EEE 機能は下記の通り扱ってください。

1. Managed スイッチの EEE 機能は「無効」にしてください。有効/無効の切り替えはアプリケーション・ソフトウェアで行えます。
2. Unmanaged スイッチには、EEE 機能をサポートする Ethernet スイッチを使用しないでください。

\*EEE (Energy Efficient Ethernet) 機能は、ネットワーク・トラフィックが低い時に消費電力を抑えるテクノロジーです。

### Dante Controller が Lake デバイスのステータスを表示しないことがある

大規模なシステム上では、Dante Controller で一つ（または複数）のオンライン・デバイスのルーティング/デバイス・ステータス/クロック・ステータスが正しく表示されず、NETWORK ビューから RELOAD DEVICE INFORMATION をクリックしても状況が改善しないことがあります。

暫定処置として、デバイスをダブルクリックして DEVICE ビューに移動してから RELOAD DEVICE INFORMATION を選択することで問題を解決できます。

## リリース・ヒストリー

## Release v6.4.0 : Installer 63 - 2015-06-03

コンポーネント	バージョン	新規	備考
インストーラー	63	X	
Lake Controller	v6.3.1.11728	X	
Dシリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.49	X	
ARM	11708	X	
DSP	11287	X	
FPGA	80		
Amp	1.1.3, PSU		
Dante	1.0.187		
PLM+シリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.49	X	
ARM	11708	X	
DSP	11287	X	
FPGA	80		
Front	4.2.5	X	
Amp	1.1.3, PSU		
Dante	1.0.187		
PLMシリーズ・ファームウェア (&OEM)	Bundle 00.04.54	X	
DSP	4.54	X	
FPGA	41		
Front	1.9.1		
Amp	0.14.5, PSU		
Dante	3.0.1.48		
LMシリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.49	X	
DSP	2.49	X	
FPGA	1058		
Front	2.2.0		
Dante	3.0.1.48		
MY8-LAKEファームウェア	Bundle 00.02.49	X	
ARM	11708	X	
DSP	R11287	X	
FPGA	R6041		
Lake Firmware Updateユーティリティ	3.2.3.11716	X	
Preset Managerユーティリティ			
Preset Manager	3.0.12.0	X	
LM Series	2.0.12.0	X	
アナライザー・インテグレーション			
SMAART	1.2		
Live-Capture / AudioClient	1.2		
サードパーティー・アプリケーション			
DAPI	3.1.8.5		Audinate 社より提供 (Windows 7以降、旧 OS の場合は旧バージョンを使用)
Dante Discovery	1.1.1.1		
Dante Control & Monitoring	1.8.2.1		
Lake LoadLibrary™	3.6	X	別紙リリース・ノートを参照
ドキュメンテーション			
Lake Controller Operation Manual	1.5.4	X	ウェブサイトにて供給予定
D Series Operation Manual	N/A		
D Series Quick Start Guide	1.0.2		
PLM+ Series Operation Manual	1.0.0	X	
PLM+ Series Quick Start Guide	1.0.0	X	
PLM Series Operation Manual	1.3.5		
PLM Series Quick Start Guide	1.3.5		
LM Series Operation Manual	1.3.5		
LM Series Quick Start Guide	1.3.5		
MY8-LAKE Owner's Manual	1.0		
Lake Network Conf. Guide	1.1.4		

## Patch Release v6.3.1 : Installer 60 - 2015-03-16

コンポーネント	バージョン	新規	備考
インストーラー	60	X	
Lake Controller	v6.3.1.11230	X	
<b>Dシリーズ・ファームウェア</b>	Bundle 00.02.45	X	
ARM	11228	X	
DSP	11142	X	
FPGA	80	X	
Amp	1.1.3, PSU	X	
Dante	1.0.187	X	
<b>PLM+シリーズ・ファームウェア</b>	Bundle 00.02.45	X	
ARM	11228	X	
DSP	11142	X	
FPGA	80	X	
Front	4.2.3	X	
Amp	1.1.3, PSU	X	
Dante	1.0.187	X	
<b>PLMシリーズ・ファームウェア (&amp;OEM)</b>	Bundle 00.04.50	X	
DSP	4.50	X	
FPGA	41	X	
Front	1.9.1	X	
Amp	0.14.5, PSU	X	
Dante	3.0.1.48	X	
<b>LMシリーズ・ファームウェア</b>	Bundle 00.02.45	X	
DSP	2.45	X	
FPGA	1058	X	
Front	2.2.0	X	
Dante	3.0.1.48	X	
<b>MY8-LAKEファームウェア</b>	Bundle 00.02.45	X	
ARM	11228	X	
DSP	R6019	X	
FPGA	R6041	X	
<b>Lake Firmware Updateユーティリティ</b>	3.2.3.11228	X	
<b>Preset Managerユーティリティ</b>			
Preset Manager	2.0.5.0	X	
LM Series	1.0.99.0	X	
<b>アナライザー・インテグレーション</b>			
SMAART	1.2	X	
Live-Capture / AudioClient	1.2	X	
<b>サードパーティー・アプリケーション</b>			
CAFÉ	N/A	X	ウェブサイトにて供給予定 Audinate 社より提供 (Windows 7以降、旧 OS の場合は旧バージョンを使用)
DAPI	3.1.8.5	X	
Dante Discovery	1.1.1.1	X	
Dante Control & Monitoring	1.8.2.1	X	
<b>Lake LoadLibrary™</b>	3.5		別紙リリース・ノートを参照
<b>ドキュメンテーション</b>			
Lake Controller Operation Manual	1.5.3	X	ウェブサイトにて供給予定  ウェブサイトにて供給予定 ウェブサイトにて供給予定
D Series Operation Manual	N/A		
D Series Quick Start Guide	1.0.2		
PLM+ Series Operation Manual	N/A		
PLM+ Series Quick Start Guide	N/A		
PLM Series Operation Manual	1.3.5		
PLM Series Quick Start Guide	1.3.5		
LM Series Operation Manual	1.3.5		
LM Series Quick Start Guide	1.3.5		
MY8-LAKE Owner's Manual	1.0		
Lake Network Conf. Guide	1.1.4		

## 変更点

### Lake Controller

- [PLM+, D Series] Auto RPM™と Custom RPM™モードのフル対応。RPM をブリッジ・モードで使用できるようになりました。
- 改良版 LoadPilot™に対応。パイロット・トーン・インピーダンスのインピーダンス解析はより正確で、測定可能なインピーダンス・レンジの上限が拡張されました。詳細は、CAFE リリース・ノートをご参照ください。
- 数多くのバグ・フィクスならびに安定性向上の変更点。詳細は、「解決された問題」セクションをご参照ください。
- v6.3.0 からアップグレードした場合、既存インストールされている前バージョンからユーザー・ファイルが自動的にコピーされるようになりました。
- PEQ ページからデフォルト PEQ フィルターが削除されました。
- LP2way+1aux / CL2way+1aux / CL3way+1aux の全 AUX チャンネルにおいて、PostEQ チャンネルがインプット・ディレイを含むか否かを選択できるようになりました。
- Lake の一般リリースにおいて、OEM 製品がサポート対象となりました（ヴァーチャル・ファイル、アップデーター、プリセット・マネージャー）。

### Preset Manager

- Preset Manager を使ってデバイス間でフレーム・プリセットまたはバンク・ファイルを転送する際に、EXCLUDE LABELS がデフォルトで設定されるようになりました。

### MY8-LAKE

- DHCP IP コンフィギュレーション・オプションに対応しました。

### PLM フロントパネル

- 全インプット・ミュートがアクティブの状態でも、フレームの障害とワーニングがフロントパネルに表示されるようになりました。
- フロントパネルのスクリーンセーバーのタイムアウト時間が 30 分に変更されました。表示オン/オフの頻度を落とします。

## 解決された問題

キー	コンポーネント	内容
5690	Groups	MODULE INPUT MUTE 使用時に GROUP INPUT MUTE がディスエーブルされる
5717	Dante, LC	LC をワイアレス NIC で使用すると Dante エラー・メッセージが表示される
5601	Dante, PLM+, PLM, LM	PLM と PLM+ の混合セットアップ使用時に、アナログ入力を使用している Lake デバイスから Dante を受信すると、入力感度が一貫せずインプット・ゲインが一致しないことがある
5892	D Series Lake, PLM+	C/D の FIRModule を使用時にパワー・サイクルを行うとフレームがブートしないことがある
5619, 5614, 5613, 5661	EQ/Levels, LC, PLM FW	256 を超える EQ セグメントの追加が許容されるループホールにより、上限を超えたセグメントを作成した際にフィルターがクラッシュされる不具合を修正
5722, 4454	LC	バイパスされたグループ/オーバーレイを使用するとモジュール・オーバーレイがバイパスされることがある
5699, 5698	UDIC / UDIP	稀に、USE DATA ON PROCESSOR がフレームのパラメーターを変更し、USE DATA IN COMPUTER が OOS 状況を解決しないことがある
5830	Audio response, I/O Config	MY8-LAKE / PLM+ / D シリーズ:4+2 コンフィギュレーションにおけるアウトプット・ルーティングの誤り
5591	Module Menu, FIRModule	Greybox ファイル / FIRModule リコール時にインプット・ミキサーがデフォルトにリセットされる
4485, 5660	LC, Synchronization	USE DATA ON PROCESSOR オペレーションで全デバイスの FastSync が失敗することがある
5542,	LC, Synchronization	RECALL LAST SYSTEM CONFIGURATION 時に全デバイスの FastSync が失敗することがある
5592	LC, Synchronization	SYSTEM PRESET RECALL 時に全デバイスの FastSync が失敗することがある
5835	Faults & Warnings	PLM+ / D シリーズ : PAL アクティブ時に PAL ワーニングが表示されないことがある

5796	LC, Window Mode LC	インプット・ミキサーの +4dBu ボタンが反応しない
5770	Faults & Warnings	モジュールが OOS の場合旧ファームウェアが検知されない
5744	D Series Lake, PLM+	フラッシュメモリでパッドブロックが生じているとパワーサイクル時に設定が正しくリストアされない
5736	Crashes	FIRMaker プラグインのロード時に LC がクラッシュする
5711	D Series Lake, Dante, PLM+ Operations	PLM+ / D シリーズ : ZeroConf に設定時、Dante Module が IP リクエストを行い、DHCP の IP アドレスを受け付ける
5709	Clocking, I/O Config	SOFT RESET が正しく AES アウトプット・クロックの設定をリセットしない
5694	Clair G request, Module Menu	ミッド・チャンネルが未使用の 3way モジュールが v6.3 で 2+1 モジュールと認識される
5676	Analyzer Integration , Crashes	plugin.conf ファイルで指定されたアナライザがネットワーク上で検出されない LC がクラッシュする
5671	Analyzer Integration	SEARCH FOR ANALYZER を押すと LC がクラッシュすることがある
5665	D Series Lake, PLM+ Operations	FACTORY RESET 後、Lake と Dante Module が異なる Dante の IP アドレスを表示することがある
5650	PLM+ Series front	フロントパネルで DUAL REDUNDANCY の設定を変更した際に、状態が正しく表示されない
5843	Crashes, D Series Lake, PLM+ Operations	ネットワーク・ループが PLM+ / D シリーズの自己パワー・サイクルを引き起こすことがある
2140	LC	複数の Controller とヴァーチャル/オフライン・フレームを使用している時にグループのミュート・ステートが一致しない
5762	LC, EQ/Levels	モジュール C&D の LEVEL LIMITS におけるアンプ出力電圧演算の誤り
5703	LC, Window Mode LC	直近の解像度が使用不可の場合にウィンドウ・モードのエラー、LC は可能な最大解像度を使用すべき
5884	Groups	異なるアウトプット・チャンネル数のモジュールをアサイン時に GROUP DATA LEVELS が正しくリセットされない

## Patch Release v6.3.0 : Installer 58 - 2014-11-17

### 解決された問題

キー	コンポーネント	内容
5646	PLM+, D Series	49 日の連続稼働でデバイスが反応しなくなることがある

## Patch Release v6.3.0 : Installer 57 - 2014-10-30

### 変更点

#### Lake Controller

- PLM+ シリーズと D シリーズ・デバイスに対応しました。
- モジュールとシステム・ファイルが「マイドキュメント」及び「ドキュメントライブラリ」フォルダに保存されるようになりました。LoadLibrary を含む全てのシステムならびにモジュール・ファイルがここに保存されます。フォルダは、Controller の初回起動時に作成されます。
- CLOCK CONFIGURATION が刷新され、クロック選択とヘルプ・スクリーンへのアクセスがより容易になりました。
- Windows のウィンドウ・モードで使用できるようになり、フルスクリーンに限定されなくなりました。USER PREFERENCES → GRAPHICS → DISPLAY MODE から設定できます。選択した設定は ic.ini ファイルに保存され、Lake Controller の起動時に適用されます。
- ワークエリア/ホーム・スクリーンのモジュールにアンプ・チャンネルのミュートとルーティング先アウトプットが表示されるようになりました。AMP CHANNEL MUTE がエンネーブルされている際に赤い線で表示されます。縦の位置はチャンネル毎に固定です。
- UHD+ や 4K スクリーンで使用できるようになりました。Lake Controller Beta 3 に含まれていた DPI スケーリングの機能は除かれました。Windows 8.1 は DPI スケーリングの必要性を自動的に判断します。この設定を無効化するには、プロパティ・メニューの Compatibility タブで「Disable display scaling on high DPI settings」を選択します。
- Lake Controller から、ハードウェア・アクセラレーションのオン/オフを設定するオプションが追加されました。Intel GPU を搭載した低スペックのラップトップやタブレット PC 等では、通常このオプションをオフにした方が良いパフォーマンスが得られます。デフォルトの設定はオンで、設定はセッション間で固定です。Graphics メニュー、またはマイドキュメント/ドキュメントライブラリ内 Lake Controller の Config サブフォルダ内にある「iC.ini」ファイルからアクセスできます。オンにするには「EMULATION=0」、オフにするには「EMULATION=1」に設定します。
- [LC, PLM] 「Load Not Verified」ワーニングが削除されました。PLM+ と D シリーズは、対象外です。フィンガープリントを含むプリセットにおいて LoadSmart™機能は引き続き今まで通り稼働し、また使用できますが、直近のパワー・サイクル以降負荷検証が行われていない状態においてもワーニングが発生しなくなりました。
- [PLM, PLM+, D Series] アンプリファイアー・アウトプットの名称が「POWER OUTPUTS」に変更されました。
- フレーム置き換えとバッチ置き換えの相互互換性は次の通りです。
  - 4 チャンネル PLM シリーズ・アンプを、相互に置き換え可能
  - 4 チャンネル PLM シリーズ・アンプを、PLM+ または D シリーズ・アンプに置き換え可能
  - PLM+ または D シリーズ・アンプを、同シリーズの別モデルに置き換え可能
- 全てのヴァーチャル・ファイルが、モジュール・スクロールバーの別のフォルダに整理されるようになりました。
- ISVPL と BEL 値が、ACTUAL (現実) / DESIRED (理想) 値として表示されるようになりました。
- ACTUAL 値として表示される数値は、製品モデルの性能と DESIRED 値の設定の兼ね合いによって異なります。コンフィギュレーションを別モデルに移動した際に、理想値は変更されません。
- CONTROL タブの ISVPL が、パワー・チャンネル (PWR OUTPUT) 当たりの ACTUAL 値に拡張されました。
- [PLM+, D Series] EVENTS & CONTROL / CONTROL タブで ACTUAL 値の後に RPM のステータスが表示されるようになりました。
- ALL タブ・メニュー・バーから GLOBAL EVENTS & CONTROL に直接アクセスできるようになりました。GLOBAL INFO ボタンは削除されました。
- [PLM+, D Series] EVENTS & CONTROL STATUS タブから LoadPilot のステータスを確認できるようになりました。
- RECALL AS SUB-SYSTEM は、リコールするサブシステムと同一名称のページがすでに存在するかどうかをチェックするようになりました。ページをマージするか、名称に通し番号 (1、2、...) を追加した上で新規ページを作成するかを選択できます。

**PLM フロントパネル**

- ディスプレイ寿命を延長するフロントパネルのスクリーンセイバーが追加されました。
- PLM+ シリーズ同様、デュアル・リダundantの表示（「=」）が行われるようになりました。

**Lake Update ユーティリティ**

- フレーム単位で、アップデートの終了及び正常な完了の表示が行われるようになりました。
- [PLM+, D Series] DANTE REFRESH ボタンが追加されました。全 PLM+ / D シリーズ・フレームの Dante ステータスをポークします。Dante Controller の RELOAD と同様に機能します。
- PLM+ または D シリーズ・デバイスのファームウェア・アップデートを行うには、Dante Discovery と ConMon の Dante サービスをコンピューター上にインストールされていることが条件となります。
- SAFE モードで同時にアップデートできるデバイスの上限数は 5 です。

**Preset Manager**

- PLM+ と D シリーズの全 5 モデルのプリセット・フォーマット（バンク）が共通化され、バンク・ファイルの扱いとフレーム・プリセットの配布がよりシンプルになりました。
- PLM+ と D シリーズのファイル・フォーマットが最適化され、PLM / LM シリーズ・デバイスと比べてフレーム・プリセットの配布が格段に効率よく行えるようになりました。

**インストーラー**

- インストーラーが一新され、より標準的な操作手順となりました。

**解決された問題**

キー	コンポーネント	内容
4995	LC	複数のアナライザ使用時に SEARCH FOR ANALYZER が失敗することがある
4866	LC	モジュールの GROUP GANG で DSP チャンネル 4 ~ 6 をギャングできない
5307	LC	高解像度ディスプレイ（Surface Pro 3 等）を使用すると、Lake Controller の起動時にエラーが発生する
5292	LC	SYSTEM ファイルのリコールに失敗すると、エラーメッセージが表示されずワークエリアが空白で表示される
5032	LC	インプット・ルーター・ミュートがワークエリアのモジュール・アイコンでは Mod.Out, Mute と表示される
4857	LC	ワークエリア上にオフラインまたはヴァーチャル・デバイスが存在すると、セカンダリ Controller の GSI (Global Status Indicator) / TRAFFIC ライトが障害を表示する
4843	LC	MULTIPLE (複数) Controller モードでモジュール・オーバーレイの EQ フィルターを削除すると、他方の Controller が正しくアップデートされない
4885	LM Firmware	LM がマスターでクロックを INTERNAL に設定していると、パワーサイクル後に LM が Dante のクロック・スリップを報告する
	LC	ファームウェア側で、従来の LC で許容されていた長いオーバーレイ・ラベル名が 18 キャラクターに省略される。LC のオーバーレイ・ラベルの上限も 18 キャラクターに制限
	Various	細かい修正、全体の安定性の向上

メモ